

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	人がつどい、活力あふれるまちづくりプロジェクト	実施期間	平成25年度～ 平成28年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	・橋本駅周辺は踏切の影響で府道京都守口線との交通アクセスが弱い。 ・淀川三川合流、石清水八幡宮、流れ橋等の観光資源のPRが十分ではなく、観光、産業の発展に課題を残している。また八幡市駅から淀川三川合流までの道は景観に配慮した整備が求められる。 ・猛暑の影響による農作物の収穫量減や品質低下等に対して緊急支援が必要。						
プロジェクトの目的及び概要	・第4次八幡市総合計画のリーディングプロジェクトの1つである交流拠点整備プロジェクトとして、京阪橋本駅の駅前広場と府道京都守口線の一体的な整備による交通結節機能の強化を図る。 ・観光客の流入増加のため、八幡市駅前空き店舗活用、観光案内所の営業時間の拡大等を実施。 ・猛暑の影響による農作物の収穫量減や品質低下等に伴い高温対策農業用資材に対して緊急支援を実施。						
	総事業費（千円）	192,482	本年度事業費（千円）	164,742	交付金額（千円）	4,272	
プロジェクトを構成する事業の平成25年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	橋本駅周辺拠点整備事業	交付対象事業	踏切の影響で交通アクセスが弱かった橋本駅周辺を、府道京都守口線との結節（高架道路新設）や駅前ロータリーを一体的に整備し、駅周辺の活性化を図る。	橋りょう架設工事 19.2m 大谷川橋梁基礎工			
	京都府事業の御幸橋関連事業、八幡の顔、北の玄関口広場整備事業（「ようこそ、八幡市へ」）	交付対象事業	京都府が実施する御幸橋関連事業における道路振替に伴う空地について、八幡市の北の玄関口となるよう修景化を含めた整備内容を検討し、平成26年度に整備。桜の木、「ようこそ、八幡市へ」の看板、防災時かまどになるベンチ等設置検討。	道路整備詳細設計業務委託 延長 250m			
	コミュニティバス運行事業	関連事業	コミュニティバス運行委託 2台 日20便	29人乗ノンステップバス2台、1日20便運行 乗車人員 88,417人／年			
住民 協働 事業	JR東海「そうだ 京都、行こう。」キャンペーン、石清水八幡宮の夜間拝観商工・観光振興事業	交付対象事業	この夏JR東海のキャンペーンに取り上げられ、八幡市駅前空き店舗活用、スマートフォン向けコンテンツの作成、イベント等を実施。	八幡市駅前に仮店舗を設置し、名産品の販売等を実施 駅前観光案内所の営業時間の拡大 現況：10：00～17：00 → 9：00～21：00（7月13日～8月31日） スマートフォン向けコンテンツの作成 観光ガイドマップ増刷 淀川三川合流域背割堤ガイドパンフレット作成			
	淀川三川ふれあい交流、背割堤七夕まつり開催	交付対象事業	淀川三川合流域で七夕まつりを開催し、人と人、動物、自然、文化のふれあいを目的とする。国土交通省、京都府、京都市、近隣市町共催。	25年8月10日～12日 来場者数 2,620人			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：八幡市

住民が 取り組む 事業	緊急農作物高温被害対策助成事業	交付対象事業	猛暑の影響による農作物の収穫量減や品質低下等に対して緊急支援を実施。		7月～9月に播種期、収穫期又は定植期を迎える野菜補助率 3/10	
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	石清水八幡宮 入込客数 平成24年 1,050,000人 → 増加		成果指標の実績値 (26年4月1日時点)	平成25年 1,100,000人 (市全体の主要観光地の観光入込客数 1,884,226人)	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	JR東海のキャンペーン及び八幡市観光協会のスマートフォン向けコンテンツの効果により、石清水八幡宮入込客数に加えて、市全体の主要観光地の観光入込客数も1,774,053人から1,884,226人に増加した。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	JR東海「そうだ 京都、行こう。」キャンペーン、石清水八幡宮の夜間拝観等により、石清水八幡宮の入込客数は50,000人増加した。					
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果		関連事業のコミュニティバス運行事業は、文化センターに来客する方が直接やわた流れ橋交流プラザ施設に行くための貴重な交通手段となっている。			
	府と市町村等との連携に資する成果		背割堤七夕まつりは、全国的にも珍しい淀川三川合流域において、七夕まつり等ふれあい交流実行委員会を中心に国や京都府及び他市町村と共同で開催し、淀川三川の啓発や他府県からの来客に寄与した。			
	住民の自治意識を高める成果		コミュニティバスは旧八幡東小学校内に整備したふるさと学習館、福祉会館、市民協働活動センターの利用者の交通手段となり、乗車人員の増加につながった。			
	リーディング・モデル成果		廃校となった旧八幡東小学校を市民活動拠点の整備をしたことに伴い、整備地へのコミュニティバスのルート変更を行い、地域の交通手段の円滑化を図った。			

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。